

暗号資産エコシステムにおける金融安定の課題—概要

暗号資産のエコシステムは、素早く安価に価値を移転する画期的な世界をもたらす。これにより革新的な金融サービスへのアクセスが拡大し、これまで銀行口座を持たない人口が多かった地域も金融サービスを利用できるようになる。ただこうした機会があるとともに、様々な分野で課題が生じている。

暗号資産のエコシステムが急速に成長する中、新しい事業者が参入しており、中には業務やサイバーリスクの管理、ガバナンスの枠組みが脆弱なものもある。投資家保護のリスクは暗号資産や分散型金融に大きな影響を与える。暗号資産は匿名性があり、世界的標準が限られていることから、規制当局にとってデータギャップが大きく金融の統合性にリスクをもたらす。

「ステーブルコイン」は、担保の種類や信用の質のほか、価格安定メカニズムに違いがあることを考慮すると、誤解を招く恐れがある名称だ。さらに、ステーブルコインの規制は国や地域によって大きく異なり、規制の差や一貫性のない規制的措置、規制上の裁定について懸念が生じている。

新興市場国および途上国では暗号資産やステーブルコインの出現がドル化のリスクを加速させ、既存の為替規制や資本規制の有効性を損なう可能性がある。新興市場参加者の暗号資産取引が活発化する中、資本の流れが不安定になりかねない。マイニング活動が新興市場国および途上国へ移行することで資本の流れやエネルギー消費に深刻な影響を及ぼす可能性もある。

政策当局者は暗号資産の世界標準の導入を優先し、データギャップを解消することで暗号資産エコシステムを監視する力を強化する必要がある。規制は、ステーブルコインの役割が拡大するにつれ、ステーブルコインがもたらすリスクと果たす経済機能に釣り合うものであるべきである。ドル化リスクに直面している新興市場国および途上国はマクロ政策の強化を優先し、中央銀行のデジタル通貨発行の利点を検討するべきだ。